



発行日 2015. 12. 25

生活クラブ連合会  
TEL:03-5285-1898  
FAX:03-5285-1839

★研修生と一緒にセロリの収穫・出荷作業をしました(鳥越農園)

♥「研修生の熟練の技と作業スピードに驚き！」(鳥越農園 福岡県)

「セロリが好きで参加しました。セロリの袋入れは、根本をきれいにカットし、出荷先ごとの規格(重量・本数・カット有無)に揃えられたセロリを出荷先指定の専用袋に入れます。袋に入れる前に茎に付いた虫やゴミを水で洗い、虫食いや傷み、キズなどがなければチェックします。1袋に1~2本の場合が多かったですが、長いままのもの、短くカットするもの、1袋に20本も入れるものなど様々な規格がありました。細かくカットしたものを入れるのには少し手間取りましたが、初心者でもできる比較的簡単な作業だと思います。



セロリの葉を1枚ずつ収穫

セロリの収穫は株ごと採るのではなく、一番外側の葉から順に1株につき1枚、大きい株のみ2枚、手で1枚ずつはがして採ります。根本が途中で折れないように内側に親指を入れて折る→横にスライドさせるイメージです。初心者には少し難しいので失敗しないよう、とにかく慎重に丁寧に。取った葉は数枚まとめて畝に置いておき、後でまとめて回収します。

パートさんとベトナム人の研修生の方と一緒に作業をしましたが、収穫の速さは倍以上で、回収の時に手に抱える量も倍くらいで、熟練の技と作業スピードに驚かされました。お昼ごはんを一緒に食べたり、一緒に作業する中でいろいろなお話ができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。あっという間の3日間でした。赤村の景色も最高にすてきでした。(兵庫、30代女性)

★鳥越農園では、夢都里路クラブの研修生が就農に向けて研修中です

♥「夢都里路クラブで各産地に行って作業できるのはとてもよい楽しみです！」

5年前に何となく母親に誘われて栃木の援農企画に参加しました。そして家庭菜園で作れば、の気持ちで2013年春に沃土会の農業塾に参加。もともと、農業をやりたい気持ちもあったことから、次第に研修先を探すこととなりました。



援農の指導をしてくれました

夢都里路クラブ以外でも探しましたが、やはり生活クラブでつながりのある生産者が安心でよいと感じ、ファーマーズユニオンの各地を回って実際に見てみました。夢都里路クラブでは、援農企画に参加して色々な産地に行って見られるのは、とてもよいと思います。今後については、独立して農業をしたいという気持ちが強いですが、組織経営、家族経営などのあり方など、他の産地や法人のやり方も知りたと思っています。ここ鳥越農園で

は、自分がやりたいと思うことをやらせてもらえるので、甘えられない、自分のやりたいことをしっかり見つけないと、と思います。ここでは研修生という特別な立場であるので、例えばやさかの研修生と相談したり、一緒に何かできたらよいと思います。(A.Sさん 談)



★「段々畑のみかん山 & 海」(無茶茶園；愛媛県)



ヒオウギガイのマグネット作り

♥「産地とその生産物が好きになります」

・ヒオウギガイのマグネット作り(真珠を購入した方へのプレゼントにするもの)、シラスのごみ取り、ミカンの収穫作業をしました。海の環境保全とミカン園が協調しているところがよくわかってよかったです。(兵庫、60代男性)

・生産者のお話で、無農薬のミカン作りをすることで、きれいな海になるということを知ってから、みかんを食べると表面の黒い点も愛おしい。食べ続けることの大切さを再認識しました。とても良かったので、色々な方が参加されるといいなと思います。(千葉、50代女性)

★「みかんの収穫とみかん缶原料みかんの皮むき」(日本果実工業(株)；山口県)

♥「周防大島の生産現場と現状が見えました」(みかんの収穫とみかん缶原料みかんの皮むき)

・選果場での視察において、H.24年に新システム選果機を数億円かけて導入されました。みかんの形状、酸度、糖度はもちろん、みかんの種類によっては種の量までセンサーで測定できる高度なもので時代の流れを感じました。一方でみかんの収穫は高齢化(就農人口の約7割が70歳以上)のため、労働力不足で存続危機を感じました。(兵庫、60代男性)

次号発行予定 1/20ごろ